科目「高校美術」選択　　シラバス

１．高校３年間での教科到達目標

①絵画、立体、デザイン、工芸を中心に表現手段の基礎を学び、造形的な創造の能力を伸ばす。	②作品を創り出す喜びを味わいながら、自己と向き合い表現することとは何かを学習する。	③　芸術を愛好する豊かな情操を育み、個性を認め合う、柔軟でおおらかな鑑賞力と知識を習得する

２．科目の到達目標と評価の観点

（教科名）美術 科目　美術　３	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	２単位	第３学年	教科書：美術３ 光村図書 副読本：新造形と美術 浜島書店
学習の到達目標	美術を自己表現の手段として考え、創造していく技術や、描写力、発想力を身に付けていく。美術系大学への進学希望者に対応し、油絵、デザイン、日本画、彫刻、工芸の実技試験の内容を対策し、主にデッサン、油絵、平面構成などの技法、技術を習得する。		
評価の観点	＜知識・技能＞ 造形の基本となるデッサン力を身につける。 対象物をよく観察し、考える力をもつ。		
	＜思考力・判断力・表現力＞ 作品に対しての思考や責任感。個性豊かな表現力を評価する。		
	＜主体性・多様性・協働性＞ 授業中の主体性を持った制作態度と、個々の作品を認め合う柔軟でおおらかな視点を評価の対象とする。		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】
Ａ：「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・100%
Ｂ：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・ 80%
Ｃ：「努力を要する」状況と判断されるもの　・・・・・ 60%
Ｄ：未提出，未実施　・・・・・ 0%

【教科横断、外部との連携】
①授業中制作した生徒の作品を公募展に積極的に出品する。

②日本、世界史を踏まえて、美術史を学び、多くの芸術的作品を鑑賞する。

月	単　元	学習のねらい	学習のポイント，使用教材等
1学期 4月 5月 6月 7月	美術ガイダンス ①　美術の教科書紹介 ②　美術の授業でのパソコンの扱い方の説明。 ○１学期課題 「静物デッサン」 デッサン基礎を学ぶ。 ○風景スケッチ　鉛筆 「小山田緑地公園」 ○デザイン基礎 平面構成「金物、果物」 アクリルガッシュ絵の具で着彩する。 ○提出。	○一年間を通じて教科書と副読本を活用する。 ○ネット上の画像検索の仕方についての注意点を、生徒に周知させる。 ○卓上のモチーフを描くことで、物の実在感、立体感、空間的な描写を目指す。 ○過去の参考作品を鑑賞する ○モチーフの形を正確のとらえ立体感、明暗、陰影の描写をする。 ○対象物をよく観察し、立体を把握することが必要である。 ○校外の風景をスケッチする ○ケント紙A3に平面構成を描く。 アイデアスケッチをもとに自由に構成して描く。 ○提出場所は教室内の乾燥棚。作品に名札を付けて提出する。	○美術の授業に必要な道具類の把握。 教科書と画材等に、名前記入をすることで 紛失予防の徹底。 ○パソコン、備品の扱い方の周知で生徒の制作が行いやすくなる。 ○欠席者への配慮。 ○必要な用具。 ❶木炭 or 鉛筆 ❷練り消しゴム、 ❸カルトン or パネル ❹木炭紙、画用紙 ○鉛筆デッサンを基本とするが、油絵、に対応するため、木炭デッサンも対応する。 ○用具の説明。 ○スケッチに必要な画材を各自持っていく ○ロイロノートにレクチャー画像を配信する。 欠席者に対応する。 ○参考作品を鑑賞し、自分の作品制作のヒントになれば取り入れる。 ○欠席者に対応。 ○ロイロノートに画像を提出 もしくは美術準備室に持ってくる。
夏休み課題	○夏休みの課題 受験対策 「ポートフォリオ作成」	○題材となるテーマは各自で選択する。 ○オリジナルな作品である事 ○自身の作品の写真を撮りファイリングする。	○提出に必要な要点のまとめ、準備を進める。

2学期 9月	○２学期課題 鉛筆「自画像デッサン」	○鏡を用いて自分の顔を観察する。 ○明暗、陰影をよく観察し描写することで立体感を表す。 ○自己表現につながる作品を描くことをめざす。	○必要な画材 ❶画用紙 A3 ❷鉛筆　2H～6B ❸デッサン用スケール ❹練り消しゴム ❺布
	○エスキースを描く。 構図を考えて、画用紙の画面に効果的に描く。	○教科書の参考作品と、過去の美術の授業で制作した参考作品を鑑賞する	○欠席者に対応。 ○ロイロノートにレクチャー画像を配信する。
	○文化祭の展示のための作品準備。	○１学期課題作品、夏休みの課題の展示用の準備を行う。 （名札、台紙貼り、ファイル）	○美術係を中心に授業中に制作した作品の展示準備を行う。
10月	○自画像デッサン提出。	○作品に名札を付け提出。	○教室内の乾燥棚の提出すること。
	○2 学期課題 「平面構成 or デッサン」 アクリルガッシュ絵の具を用いて、平面構成を描く。	○与えられたモチーフを自由に構成し、描く。	○必要な画材 ❶パネル ❷アクリルガッシュ絵の具 ❸鉛筆 ❹定規
		○アクリルガッシュ絵の具で着彩する。 ○絵の具の混色の工夫を学ぶ	○鉛筆で下描き。 ○絵の具で細部の描写をする。
12月	○提出。	○教室内乾燥棚に提出する。 ○作品に名札を付けていない生徒に連絡する。	○名札の確認 ○欠席者に対応 ロイロノートに画像を提出もしくは作品実物を美術準備室に提出する。
3学期	○生徒の課題に対応する	○実技試験課題に必要な項目に、個々に対応し、生徒のサポートを行う。	○実技試験に必要な準備を行う。

3．学習計画及び評価方法等

評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
＜知識・技能＞ 〇対象をよく観察し描写することができる。 〇表現する内容を深く思考する能力がある。 〇丁寧な作業工程である。 〇芸術に対して好奇心をもち、工夫をすることができる。 〇作品の完成度を高め、仕上げることができる。	〇学期課題の提出作品。 〇授業中の作品への取り組み方。 〇授業中の制作態度。
＜思考力・判断力・表現力＞ 〇個性豊かな感性であること。 〇アイデアなどの発想力が豊かであること。 〇作品の内容を深く思考することができる。	〇学期課題の提出作品。 〇授業中の制作態度。 〇制作途中のスケッチブックのエスキース。
＜主体性・多様性・協働性＞ 〇画材や道具を正しく扱うことができる。 〇制作の準備を整えることができる。 〇教室内の片付けを行うことができる。 〇他の人の作品に対し、認め合い配慮することができる。	〇授業中の様子。 〇授業後の片付けの様子。 〇画材の扱い方。 〇文化祭の準備の様子。 〇画材の忘れ物

【提出物状況の評価基準】

Ａ：作品が完成した状態で提出期限を守り、名札を貼っている。
（ロイロノートに画像を提出した場合、個別に対応する）

Ｂ：作品は完成し、名札を貼っている状態だが、提出期限を守っていない。

Ｃ：「努力を要する」状況と判断される

Ｄ：作品未提出の状態。